

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|------|----------|
| 事業所名 | 音のはびねすうみ |
|------|----------|

公表日 令和8年2月1日

利用児童数 24名

回収数 19名

| | チェック項目 | 回答 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|---|----|---------------|-----|-------|---|------------|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 14 | 4 | | 1 | リトミックには、少し手狭に感じます 後、個室が少なく感じています | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 17 | 1 | | 1 | 職員の数が多い時もあると思いますが 利用時の配置や送迎時は心配になること もございます | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 16 | 2 | | 1 | 段差に関しては低く作られているので問題なく利用できると思う 荷物の置き場も出入口付近で分かりやすいと思います | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 17 | 2 | | | 清潔感はあると思いますが、壁に注意書き等が多々ある為、集中できずらいこともあると思う | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 18 | 1 | | | 一貫したリトミックなので特性に応じた内容かは不明です | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 19 | | | | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 18 | 1 | | | 体感などに関してはニーズに合っているものと思いますが、その他の方面に関しては個別支援計画書として弱い部分がある | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 18 | 1 | | | 体感トレーニングは適切に設定されていると思います 内容も子供にあったものだと思います | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 18 | 1 | | | リトミックに関しては、しっかりと支援がなされていると思います | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 17 | 2 | | | 基本土曜日に行われているイベント事に向けて、固定化されないよう、色々と取り組んでいただけてるとおもいます | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。 | 9 | 4 | | 6 | 基本土曜日に色々と行ってくださってます | |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 19 | | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 19 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 11 | 4 | | 4 | 色々と行ってくださっていると イベント事に参加する機会が少なく内容までが把握できておりません | |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 18 | 1 | | | アプリを使用して、放デイの様子を伝えてくださっています 細かく伝えてくださってありがとうございます 共通理解が出来ているかは、分からない部分もあります | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 18 | 1 | | | 定期面談で音はびさんでの子供の様子は伝えてくださっています | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 18 | | | 1 | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 7 | 5 | 1 | 6 | イベントに参加しておりませんので、交流や支援等の機会はあるかもしれませんが把握しておりません | |
| | 19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 17 | 1 | | 1 | | |
| | 20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 18 | 1 | | | アプリでの伝達や、送迎時の口頭での伝達を行っています | |
| | 21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 18 | 1 | | | 度々拝見させていただいています (SNS、プリント等) | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|---|---|--|
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 17 | 1 | | 1 | 外部発信の情報に関しては、しっかりと取り組まれていると感じています | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 17 | 1 | | 1 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 18 | 1 | | | 周知説明はされており、訓練も行われています 避難場所は少し不安があります | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 18 | 1 | | | 子どもの安全に関しては、十分に注意されていると思います | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 18 | | | 1 | 細かなことは口頭で伝えられたことがありますが、大きな事柄はこれまでにないのでわかりません | |
| | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 19 | | | | | |
| 満足度 | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 19 | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 18 | 1 | | | 支援はリトミックメインで行かせてますので、送迎時での学校ルール等は守っていただきたいと思います | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 音のはびねすうみ | | | | | 公表日 令和8年2月2日 | |
|----------|----|--|----|-------|-----|--|--------------|--|
| | | チェック項目 | はい | どちらとも | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| | | | | | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 8 | | | ・座位を保つ際に、狭く感じるがあったがスペースを広げることで適切な距離を保つことができている。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。 | 7 | 1 | | ・定員数を気にしながら勤務を組んでくださっています。 ・常に人員配置を意識してシフトが組めているやむを得ないで定員数は配置数が変動する ・送迎が回らなくバタつくことがある | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | 1 | | ・目について欲しいもの、そうでないものを分けて物を置いています。 ・玄関には段差があるが車いす利用児がいない ・玄関が多少狭く、訓練時に混む ・玄関に靴箱があるとさらに安全かと思いません | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | | | ・こまめに掃除を行っています。 ・夕方、児童が帰宅後、清掃、消毒等を行っている | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | | | ・興奮状態や情緒不安定な場合に過ごすスペースを確保している | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8 | | | ・週に1回三三PDCA会議を行い、共有している | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 1 | | ・集計を出し、情報共有している ・保護者の意見はできる範囲で対応するとよいのではないかと | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | | ・朝礼、終礼を必ず行っている（LINE共有含む） | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 7 | | 1 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 8 | | | ・様々な研修を取り入れて受けている。 また、社外研修を受けた職員が社内研修をしている | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | | | ・職員全体で作成し、LINEにて保護者に共有している | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | | | ・療育時や余暇時の会話内で児童のニーズを聞き出し保護者との面談時に共有。 その後計画を作成している。 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 8 | | | ・モニタリング会議ができる際は、全員で行う。できない時は、意見を書いた紙を提出してもらっている | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | | | ・各自、HUG内の計画を確認している | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | | | ・提供記録内に記入できることは記入し、課題は、会議をして確認している ・保護者とのアセスメントをもっと深くはなしたい | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | | | ・具体的支援が行えている。 ワンストップ支援を心掛けているが地域連携等はできていない | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | | | ・全員が関わり取り組んでいる | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | | | ・固定する内容、しない内容とあるが、様々な内容を取り入れている | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | | | ・専門的支援を取り入れることで出来ている | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | | | ・朝礼時に情報の共有している | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| | 21 | 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 2 | ・終礼を行い共有している | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | | ・提供記録を記入している。 支援内容については共有している | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 1 | ・必要に応じて行っている。 半年に1度ということにとらわれないようにしている | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 7 | 1 | ・専門的支援や外出支援を行うことで出来ている | |
| | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | | ・音楽プログラムや外出支援を行いながら児童自身が選択、決定できるよう支援している | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 8 | | ・参加できない場合は、意見を聞き取り児童発音が考えている | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 1 | ・連携する病院がある。また、保育園や幼稚園、小学校等と密に連携をとるようにしている | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | | ・時間割を活用しており、変更等がある場合は保護者を通したり、送迎時に確認している | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | 1 | ・担当者会議や契約時に提出してもらうことで理解に努めている | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 7 | 1 | ・系列内の事業所への移行時は提供アプリを活用。他事業所等への移行時は紙等を使って提供している | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | 2 | ・市役所から来る研修を受けたりすることで機会を設けている | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 5 | 3 | ・他事業所との交流はまだ行っていませんが同法人内での交流は何回かあります | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | 2 | ・参加できるように調整している。 今年は参加できた。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | | ・できたこと、課題を伝えるようにしている 課題を伝えた場合、支援内容も伝え、できることもあることを伝えている | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | 2 | ・引継ぎ時に行っているが、伝わっているかはわからない ・家庭と参加する機会がない。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | | ・契約時に行っている。不明点は後日でも良いので問い合わせてほしいと伝えている | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8 | | ・アセスメント（面談）や送迎時の何気ない会話からもニーズ等拾うようにしている | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 8 | | ・不明点についてまず聞いてもらえるようにしている | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | | ・いつでも対応できるようにしている。 その場で解決できない場合、日を改めている | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 3 | ・保護者同士のつながりを嫌がることもありできていない | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 1 | ・報連相を徹底している。現場のみで解決できないと判断した事例はすぐに上司へ報告し解決している ・時と場合 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 8 | | ・音はひだよりを月1回発行 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | | ・鍵付きの書庫を活用している | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | | ・HUG内での提供記録やLINE、口頭伝達等で行っている | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 5 | 3 | ・子供たちのスキルを考えると招待は難しい。出向くことはできている | |

| | | | | | | | |
|---------|--|---|---|--|------------------|---|--|
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8 | | | ・訓練は日程調整を行い、実施したり、机上訓練を行っている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | | | ・地震、津波による避難訓練、また火災についての訓練を定期的に行っています。 ・BCPの想定はできている。訓練は他事業所とも連携しながらできている | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 8 | | | ・てんかん発作を起こした時の対応方法を把握できている | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 8 | | | ・保護者に聞き取りを行っている。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | | | ・避難訓練等を実施している | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | | 1 | ・都度説明している | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | | | ・ヒヤリハットの作成はできている。都度声掛けを行い、当事者が作成するようにしている | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | | | ・社内、社外の研修を行い対応している | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 8 | | | ・個別支援計画書内に記載している | | |

| | |
|----|----------------|
| 公表 | 事業所における自己評価総括表 |
|----|----------------|

| | | | |
|----------------|--------------|--------|-------------|
| ○事業所名 | 音のはびねすうみ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 12月 15日 | ～ | 令和8年 1月 17日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 24名 | (回答者数) | 19名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 12月 15日 | ～ | 令和8年 1月 17日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 8名 | (回答者数) | 8名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 12月 15日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|------------------------|--|--|
| 1 | ・専門的支援を実施できている | <ul style="list-style-type: none"> ・各自、支援時間が被らないようにしている。被ったときは話し合って協力して場所などの変更で対応している。 ・「楽しい療育」になるようにアイスブレイク等を取り入れている。(支援を嫌だと思われないようにしている。) ・失敗例、成功例の共有を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度の予定を立てて、柔軟に対応する。 ・少しでもできたことは褒める声かけを行う。 ・支援内容の共有。 |
| 2 | ・送迎時間等の要望に応えることができています | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時間に限らず、服薬や利用状況、軽食等についても対応している。 ・急な予定変更にも柔軟に対応している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・急な対応を言いたくても言えない保護者が言いやすい環境を整える。 |
| 3 | ・SNSの更新をほぼ毎日できている | <ul style="list-style-type: none"> ・担当を決めている。 ・動画や写真を撮り、全体LINEで共有している。 ・内容に偏りがないようにしている。 ・療育とは関係ないことも投稿している。 ・担当者に声掛けをしている。 ・SNSで職員募集の呼びかけを行っている | <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の投稿担当をうみ職員にする。 ・宮の職員には都度声かけを行う。(投稿漏れ防止) ・ストーリーも投稿する。 ・イベントのチラシをそのまま投稿する。(目的なども一緒に投稿) ・宮の利用児童の獲得。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 1 | ・道路沿いではないので事業所が見えづらい。 | ・事業所の名称が見えづらいこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペンキなどで広告を作る。 ・子どもたちと一緒に活動として行う。 |
| 2 | ・送迎車両に事業所名などの掲載ができていない。 | ・事業所に通所していることを知られたくない保護者がおり、事業所名の掲載ができていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・マグネット式で製作し、必要に応じて取り外しができるよう工夫する。 |
| 3 | ・海が近く災害(主に地震・津波)などの不安から利用を停止する児童がいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・海が近い。 ・避難場所が高齢者施設だったが、宮崎東小学校に変更したことを周知できていない。 ・避難訓練の様子が周知できていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を定期的に行っていることをSNSなどを活用し、周知する。 ・保護者に災害についての不安点をアンケート実施、その点について話し合い結果を報告。 ・避難場所マップを作成する。(周辺の安全マップを作る) ・安全マップを送迎車内に常備する。 |